

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2008年46週(11月2週11/10～11/16)

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>
E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp
連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

今週の内容

トピックス

RSウイルス感染症

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

病原体検出情報

定点医療機関コメント

インフルエンザA型・B型、RSウイルス感染症、溶連菌感染症、感染性胃腸炎、マイコプラズマ等全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(29)、腸管出血性大腸菌感染症(3)、梅毒(1)、麻しん(1)

名古屋市感染症情報(11月前半)

WHO 疫学週報抄訳

2008年10月24日(83巻43号)

ロタウイルスワクチン;臨床試験データの評価と研究ガイド

肺炎球菌結合型ワクチン;世界における導入状況

2008年10月31日(83巻44号)

天然痘ウイルスDNA;分与、取扱い、合成に関するWHO勧告

西半球における風疹、先天性風疹症候群排除;03-08年

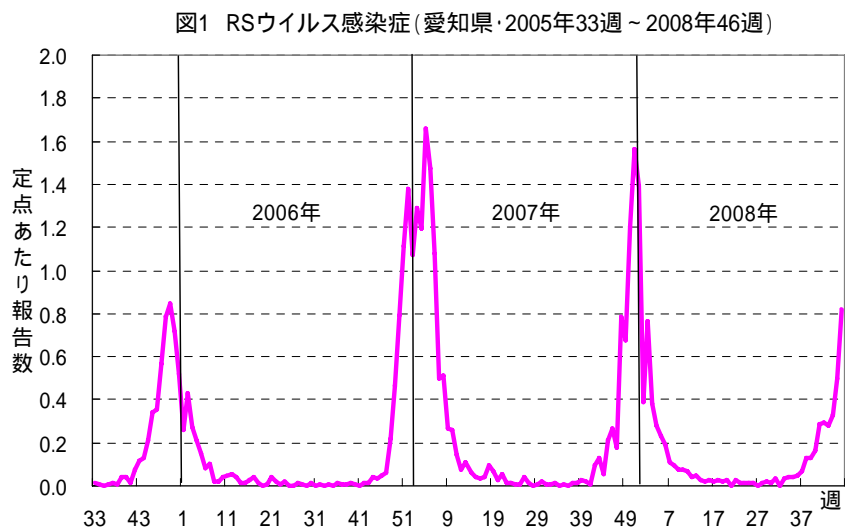
定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf> をご覧ください。

トピックス

RSウイルス感染症(図1)

愛知県は11月20日、RSウイルス感染症に関する注意情報を発表しました。詳しくは参考ページ1をご覧ください。46週の定点あたり患者報告数は0.82人、前週比1.6倍(91人 149人)です。



【参考ページ】

1) 「RS(アールエス)ウイルス感染症が流行しています」(健康対策課)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/081120.pdf>

2) 「RSウイルス感染症」

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

46週の定点あたり患者報告数は1.77人、前週比1.1倍(287人 322人)です。保健所別定点あたり患者報告数は、瀬戸5.89及び津島4.00が警報レベルです。

【参考ページ】

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

インフルエンザは 2007 / 2008 シーズンの検査結果です。

| | 感染性胃腸炎 | 手足口病 | ヘルパンギーナ | 咽頭結膜熱 | 流行性角結膜炎 | 無菌性髄膜炎 | 脳炎 脳症 | インフルエンザ |
|----------|--------|------|---------|-------|---------|--------|----------|---------|
| 患者数 | 249 | 85 | 83 | 16 | 5 | 50 | 22 | 197 |
| PV-1 | 4 | - | - | - | - | - | - | - |
| PV-2 | 3 | - | 2 | - | - | - | - | - |
| PV-3 | 3 | - | - | - | - | - | - | - |
| CV-A2 | - | - | 28 | - | - | - | - | - |
| CV-A4 | - | 4 | 20 | - | - | - | 2 | - |
| CV-A6 | - | - | 2 | - | - | - | - | - |
| CV-A10 | - | - | 3 | - | - | - | - | - |
| CV-A16 | - | 51 | 3 | - | - | - | 1 | - |
| EV-71 | - | 1 | - | - | - | - | - | - |
| CV-B1 | 1 | - | 2 | - | - | 5 | 1 | - |
| CV-B3 | - | - | - | - | - | 1 | - | - |
| CV-B4 | - | - | 1 | - | - | 1 | - | - |
| CV-B5 | 1 | - | - | - | - | 2 | - | - |
| E-5 | - | - | - | - | - | 1 | - | - |
| E-11 | - | - | 1 | - | - | - | 1 | - |
| E-30 | 5 | 2 | 1 | 1 | - | 12 | - | - |
| HPeV-1 | 3 | - | - | - | - | - | - | - |
| HPeV-3 | - | 1 | - | - | - | - | 1 | - |
| FluAH1 | - | - | - | - | - | - | - | 95 |
| FluAH3 | - | - | - | - | - | - | - | 27 |
| FluB | - | - | - | - | - | - | - | 6 |
| MuV | - | - | - | - | - | 1 | - | - |
| RotaA-G1 | 4 | - | - | - | - | - | - | - |
| RotaA-G3 | 8 | - | - | - | - | - | - | - |
| RotaA-G9 | 14 | - | - | - | - | - | - | - |
| NV G | 6 | - | - | - | - | - | - | - |
| NV G | 19 | - | - | - | - | - | - | - |
| Ad-1 | 3 | - | - | - | - | - | - | - |
| Ad-2 | 4 | - | 1 | 1 | - | - | - | - |
| Ad-3 | 6 | - | - | 6 | - | 1 | 1 | - |
| Ad-4 | - | - | - | 3 | - | - | - | - |
| Ad-5 | 2 | - | - | - | - | - | 1 | - |
| Ad-6 | 3 | - | - | - | - | - | - | - |
| Ad-8 | - | - | - | - | 1 | - | - | - |
| Ad-31 | 1 | - | - | - | - | - | - | - |
| Ad-41 | 17 | - | - | - | - | - | - | - |
| 検査中 | 16 | 5 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| 陰性 | 133 | 21 | 18 | 4 | 2 | 24 | 14 | 69 |

略:ウイルス名(他の略名)

Ad : アデノウイルス

FluAH1 : A ソ連型インフルエンザウイルス

MuV : ムンプスウイルス

CV : コクサッキーウイルス(Cox.)

FluAH3 : A 香港型インフルエンザウイルス

NV : ノロウイルス

E : エコーウイルス

FluB : B 型インフルエンザウイルス

PV : ポリオウイルス

EV-71 : エンテロウイルス 71 型

HPeV : ヒトパレコウイルス

RotaA : A 群ロタウイルス

「平成 19 年 疾患別ウイルス検出情報」は以下のページをご覧ください

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

定点医療機関コメント（名古屋を除く）

尾張西部地区

感染性腸炎が目立ちました。軽症で1~2日で回復する子が多いです。

【一宮市 あさのこどもクリニック】
アデノウイルス感染症 6名

【一宮市 ささい小児科】
インフルエンザB 7歳 発熱のみ

【一宮市 城後小児科】
マイコプラズマ肺炎 24歳男

【稲沢市 野村整形外科】

ノロウイルスを疑わせる下痢症がはじまりました。

【犬山市 武内医院】

溶連菌感染症、感染性胃腸炎増加しています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

RSウイルス感染症がまだ続発しています。

急性胃腸炎もでてきました。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

9歳男2人、6歳女、マイコプラズマ感染症。

1歳女2人、ロタウイルス(+)。

【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

溶連菌感染が多く、感染性胃腸炎もではじめました。

病原大腸菌(O153)15歳男、(O18)8歳男。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

咽頭結膜熱2例(3歳女、1歳男)

溶連菌感染症、流行性耳下腺炎、その他、喘息が目立ってきました。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

5歳のマイコプラズマ肺炎。

水痘増加。

ムンプス、溶連菌感染症少々。

RSウイルス感染症続いています。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

RSウイルス感染症が続いています。

インフルエンザA型が始まっています。

【春日井市 春日井市民病院】

インフルエンザA型1件

【春日井市 医療法人聡彩会片山こどもクリニック】

インフルエンザはエスプラインで検出A型。当院第1例。職場での感染です。

【春日井市 竹内医院】

RSV感染症流行中。

【小牧市 小牧市民病院】

RSウイルス感染症急増中。

溶連菌感染、水痘も増加。

手足口病は減少傾向です。

【小牧市 志水こどもクリニック】

カンピロバクターが出ました。(男3歳)

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

30歳女 百日咳(+)

11歳女 病原性大腸菌O74(+)

サルモネラ spp. O9(+)

34歳男 百日咳(+)

【半田市 医療法人林医院】

アデノウイルス感染症(8歳兄、7歳女)

ヘルペス性歯肉口内炎 2歳妹

【美浜町 厚生連知多厚生病院】

2歳女 病原大腸菌O1(+)

ペロトキシン(-)

カンピロバクター(+)

6歳男 病原大腸菌O15(+)

ペロトキシン(-)

【大府市 まえはらこどもクリニック】

子供に帯状疱疹がありました。

【東海市 こいで内科医院】

ウイルス性と思われる胃腸炎が少しみられます。

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

Strep A(+) 4歳男、5歳男、6歳男、2歳女、6歳女

E.coli(O74)10歳男

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

3歳男 異型肺炎

【岡崎市 医療法人深田小児科】

病原大腸菌O1(+)

6歳男

カンピロバクター(+)

8歳女

溶連菌感染症がやや増加

【岡崎市 花田こどもクリニック】

3歳男 病原性大腸菌O18 VT(-)

5歳女 サルモネラ腸炎

3歳男 サルモネラ腸炎

ムンプス、溶連菌感染症散見されます。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

1歳男 病原性大腸菌O1(+)

VT(-)

1歳男 サルモネラO7

1歳女 病原性大腸菌O153(+)

VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

7歳男 マイコプラズマ肺炎

2歳男 病原大腸菌O1

2歳女 A型インフルエンザ

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

ムンプスいます。

手足口病散発です。

【碧南市 永井小児クリニック】

マイコ気管支炎 2名(4歳、6歳)

【刈谷市 田和小児科医院】

病原大腸菌O1 VT(-)

25歳女

【西尾市 やすい小児科】

カンピロバクター 7歳女、5歳女

マイコプラズマ肺炎 3歳女

アデノウイルス感染症 4歳女

【幸田町 とみた小児科】

カンピロバクター、病原性大腸菌O1(+)

5歳男

感染性胃腸炎が目立ちました。

【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

アデノ扁桃炎 3名
 【豊橋市 マミーローズクリニック】
 RSウイルスが流行しています。
 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

カンピロバクター 10歳女
 E.coli O1 男11歳
 【豊川市 ささき小児科】
 田原市内の一施設にてインフルエンザが出現
 【田原市 かわせ小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）11月19日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki/jun080512.pdf>

結核（二類感染症）

| 報告保健所 | 46週報告数 | | | 2008年累計(1～46週) | | |
|---------------|--------|------------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|
| | 総数 | 喀痰塗抹検査 陽性者数再掲 | 無症状病原体 保有者再掲 | 総数 | 喀痰塗抹検査 陽性者数再掲 | 無症状病原体 保有者再掲 |
| 名古屋市(16保健所合計) | 15 | 5 | 3 | 711 | 207 | 83 |
| 豊田市 | 3 | 2 | | 75 | 22 | 18 |
| 豊橋市 | 1 | 1 | | 89 | 27 | 26 |
| 岡崎市 | 2 | | | 79 | 33 | 17 |
| 一宮 | 4 | 2 | 1 | 97 | 23 | 14 |
| 瀬戸 | | | | 135 | 49 | 19 |
| 半田 | 1 | | | 65 | 18 | 14 |
| 春日井 | | | | 94 | 25 | 15 |
| 豊川 | | | | 44 | 15 | 9 |
| 津島 | | | | 48 | 11 | 2 |
| 西尾 | | | | 38 | 15 | 5 |
| 江南 | 2 | | 1 | 66 | 18 | 12 |
| 新城 | | | | 11 | 3 | 2 |
| 知多 | 1 | | 1 | 86 | 25 | 26 |
| 師勝 | | | | 38 | 13 | 7 |
| 衣浦東部 | | | | 95 | 32 | 17 |
| 合計 | 29 | 10 | 6 | 1,060 | 329 | 203 |

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

| 番号 | 報告保健所 | 年齢 | 性別 | 発病月日 | 初診月日 | 診定月日 | 備考 |
|----|-------|-----|----|--------|---------|---------|-----------------------------------|
| 1 | 名古屋市 | 39歳 | 女 | - / - | 11 / 6 | 11 / 11 | O157、VT1(+) VT2(+) <無症状病原体保有者> |
| 2 | 岡崎市 | 1歳 | 男 | 11 / 8 | 11 / 10 | 11 / 13 | O157、VT1(+) VT2(+) |
| 3 | 衣浦東部 | 5歳 | 女 | 11 / 6 | 11 / 7 | 11 / 11 | O157、VT1(+) VT2(+) |

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

梅毒（五類感染症）

| 番号 | 報告保健所 | 年齢 | 性別 | 病型 | 推定感染経路 | 推定感染地域 |
|----|-------|-----|----|------|--------|--------|
| 1 | 名古屋市 | 59歳 | 男 | 早期顕症 | 性的接触 | 国内 |

麻しん（五類感染症）

| 番号 | 報告保健所 | 年齢 | 性別 | 予防接種歴 | 推定感染地域 |
|----|-------|-----|----|-------|--------|
| 1 | 豊川 | 17歳 | 男 | 不明 | 国内 |

愛知県衛生研究所企画情報部(文責 磯村)

今年の秋の学会シーズンもそろそろ終わろうとしています。出来るだけ出席しようと心がけているのですが、年々無精者となり、勉強もせずに居眠りばかり、最先端の研究なのに分からないことがいっぱい、授業についていけなくなった登校拒否(最近はこの言葉は使わないそうですが)の小学生の気持ちが理解できたりしています。ところで、いつも貴重な情報を有難うございます。11月前半のまとめをお送りします。

名鉄病院福田先生からはマイコプラズマ感染症と高熱を伴う咽頭炎が非常に目立ち、RSウイルス感染症も増加、ロタウイルス感染症はまだ散発的で、水痘が増加傾向にあり、まだインフルエンザは経験していない。入院ではマイコプラズマによる肺炎、喘息性気管支炎が入院の過半数で咽頭炎・扁桃炎の重症入院、RSウイルス感染症の入院も目立つ、第二日赤岩佐先生からは水痘が散発、鼻咽頭炎が多く、マイコプラズマ肺炎、ウイルス性肺炎の入院が多くRSウイルス感染症の入院目立つ、三菱病院入山先生からはA群溶連菌咽頭炎2名、RSウイルス感染症2名、咽頭アデノウイルス感染症2名(1名入院)、突発性発疹2名、肺炎～気管支炎(マイコプラズマ、RSウイルスを含む)の入院が9名、喘息発作入院1名、中京病院柴田先生からは入院患者でRSウイルス感染症が増加、水痘とムンプスが散発、とのお手紙でした。有難うございました。

WHO疫学週報抜粋抄訳

平成20年11月20日

愛知県衛生研究所企画情報部(文責 磯村)

2008年10月24日(83巻43号) <http://www.who.int/wer/2008/wer8343/en/index.html>

ロタウイルスワクチン。臨床試験データの評価と将来研究ガイド。

07年11月、WHOとWHOのワクチン研究実行部会が健康に関わる適切な技術計画(Program for Appropriate Technology in Health)のロタワクチン計画と共同で、米国アトランタ・CDCで会議開催。05年11月、欧州医務局(European Medicines Agency)と米国食品薬品局(FDA)により認可された経口弱毒ロタウイルス生ワクチンのロタリックス(グラクソスミスクライン社)とロタテック(メルク社)に関し最初のWHOの作戦助言専門家委員会(Strategic Advisory Group of Experts, SAGE)による臨床試験データ検討が実施された。欧州、ラテンアメリカ、米合衆国における試験では両ワクチンとも重症ロタ感染症に対し有効性は良好(有効率85~98%)であった。ワクチン安全性に関する世界助言委員会(Global Advisory Committee on Vaccine Safety, GACVS)は継続的にこれら2ワクチンの安全性のデータを確認しており、認可前のデータは満足出来るものであり、認可後の安全性監視の継続が重視されている。米合衆国では07年8月時点で約910万接種量のロタテックが投与されており、腸重積の発病はみられていない。さらに両ワクチンに関する試験がラテンアメリカにおいて実施中でこの1~2年で報告可能の予定である。SAGEとしてはまず第3相試験が実施されている国でワクチン接種導入、次いでアジアとアフリカ地域に普及を考えており07年11月に地球・地域・国レベルの専門家を招集、ロタワクチン臨床試験データの評価と推計、研究事項が協議された。アジア・アフリカにおける有効性データの必要性からアフリカで5カ国(ロタリックスがマラウイと南アフリカ、ロタテックがガーナ、ケニア、マリ)、アジアで2カ国(ロタテックがバングラデシュとベトナム)において第3相無作為二重盲検プラセボ対照試験実施中。結果は08~09年、SAGEなどで解析予定。これら臨床試験は5歳未満小児死亡の高い国々であり、これまでの結果は中等度の有効性をもつロタワクチンでも経費効率は良好であるが、途上国でロタワクチンが有効性を発揮出来ない要因がいくつかある:()ロタウイルス疫学の途上国と先進国の差。()途上国の乳児では他の腸管感染症

とか母乳によるロタに対する腸管免疫、経口ポリオワクチンによる干渉が考えられる。() 低栄養、HIV 感染、マラリアや結核など途上国のもつ問題。今回の会議の全体的合意事項としてはロタワクチンを無効と簡単に決めつけてはいけないこと、強調されるのは SAGE と WHO の勧告は国レベルをこえたものであること。接種試験に参加しなかった国にどのように導入するか、乳児死亡の状況や成人間の HIV 侵襲度など国による差が考慮されるべきである。また、すでに認可されたワクチン以外に追加して委員会は現在開発中の認可前ワクチン研究の研究要綱(アジェンダ)を示した。この認可前ワクチンには牛・人口タウイルス組換えワクチン (UK 株)、新生児用生ワク 116E 株、同 RV3 株、さらに不活化ワクチンやサブユニットワクチン開発がふくまれている。今後も認可後ワクチンの監視が重要である。

肺炎球菌結合型ワクチン (PCV) の世界における導入状況。2000~08 年。

肺炎球菌感染症は世界における小児疾患・死亡の主因の一つであり、毎年世界全体で 5 歳未満小児の 70~100 万人が死亡している。7 種類の血清型を含む肺炎球菌結合型ワクチン (PCV7) は 2000 年に接種が開始され 5 歳未満小児の侵襲性肺炎球菌感染症を 79%、2 歳以下の肺炎入院を 39% 減少させている。優れた有効性から WHO とユニセフは乳幼児定期接種スケジュールに組み込むことを勧告し、08 年 8 月時点で 26 カ国が全小児に全国定期接種として接種しているが低所得国ないし低度の中所得国は接種していない。本報は接種している国の状況と接種の問題点のまとめである。基礎資料として WHO と関連国際機関資料、世界銀行の資料を利用。各国の財政状況を高所得国、中所得の上の方の国、中所得で下の方の国、低所得で世界ワクチン・予防接種支援連盟 (GAVI Alliance) の支援・援助が必要な国に分類(詳細略)、調査した。結果は(1) PCV が接種されているのは高所得国 24 カ国と上・中所得国 2 カ国だけ。(2) ハイリスクグループに接種しているのは高所得国 8 カ国、上・中所得国 3 カ国、下・中所得国 2 カ国。(3) 5 歳未満小児の 1,000 出生当り死亡数が 50 をこえるのは高所得国 1 カ国、上・中所得国 3 カ国、下・中所得国 4 カ国、低所得国 59 カ国。(4) HIV 感染者が成人 (15~49 歳) の 1% をこえるのは高所得国 5 カ国、上・中所得国 8 カ国、下・中所得国 4 カ国、低所得国 35 カ国。(5) 肺炎球菌感染による死亡が 5 歳未満死亡の 10% をこえるのが高所得国 1 カ国、上・中所得国 11 カ国、下・中所得国 24 カ国、低所得国 66 カ国であった。07~08 年、GAVI は 11 カ国から PCV 導入財政支援の申請を受け 8 カ国(中央アフリカ、コンゴ民主共和国、ケニアなどアフリカ諸国。国名略)が受諾され、今後こうした国の肺炎球菌感染症対策進捗が期待される (2000~08 年 8 月の間 PCV7 を導入した国と導入年の世界地図あり)。

2008 年 10 月 31 日 (83 巻 44 号) <http://www.who.int/wer/2008/wer8344/en/index.html>

天然痘ウイルス DNA の分与、取扱い、合成に関する WHO 勧告。

- (1) 緒言: 現在、世界で天然痘ウイルスが貯蔵されている天然痘ウイルス保管研究室は米国 CDC とロシアの国立ウイルスバイオテクノロジー研究所の 2 カ所だけで、ともに WHO 協力センターであり、天然痘ウイルスを用いる研究は WHO の許可をうけ、完全ウイルス封じ込めが出来るとこの 2 研究室だけとなっていて、天然痘ウイルスの遺伝子工学や DNA からの感染性ウイルス合成は厳禁されている。天然痘の診断・治療の研究者は感染性のない天然痘ウイルスゲノムの一部を上記専門保管研究室 2 カ所のいずれかから提供され研究できるが、下記の要件が WHO から委託された WHO オルトボックス感染症アドホック委員会と WHO 天然痘ウイルス研究助言委員会から義務づけられている。
- (2) 天然痘ウイルス DNA 分与: 分与条件は () 分与申し出は WHO 本部を通じ天然痘ウイルス保管研究所に提出。() 他の研究室に「たらい回し」しない。() 使用報告を毎年保管研究所と WHO に提出。500 塩基対をこえないウイルス DNA は指定研究所で診断キット用に使用可能 (全ゲノム配列の 20% をこえないこと)。
- (3) 天然痘ウイルス取扱い: 取扱いが許されるのは () その DNA を他のボックスウイルスに挿入しない。() 100 ヌクレオチドをこえる天然痘ウイルス DNA を取扱う研究はガイドラインにあわせたリスクアセスメント書類を提出すること。() 他のオルトボックスウイルスを同じ研究室で扱わない。() 天然痘ウイルス DNA を含む副産物は全て 120、30 分不活化する。

- (4) 天然痘ウイルス DNA 合成：1. 天然痘ウイルス DNA の全長の合成とか小領域断片からの感染性天然痘ウイルス合成は厳禁。2. 500 塩基対をこえる天然痘ウイルス DNA の合成は書類による WHO の認可が必要。全ゲノムの 20%をこえる DNA の保持は天然痘ウイルス保管研究所だけに許されている。3. 80 塩基対以下の DNA 小配列合成は WHO の許可不要。
- (5) 報告義務：天然痘ウイルス DNA 取扱い研究機関は天然痘ウイルス保管研究所に報告を義務づけられている。

風疹と先天性風疹症候群 (CRS) 排除の西半球における進捗。03~08 年。

- (1) 緒言：2003 年、第 44 回 PAHO (WHO 南北アメリカ地域) 評議会は風疹と CRS を 2010 年までに排除する決議を採択した。排除の定義は 12 ヶ月をこえて国内の風疹ウイルス伝播が中断されており、風疹ウイルス感染による CRS 発生が認められないこと、である。排除作戦として()全小児を対象とした風疹を含むワクチンの定期接種を生後 12 ヶ月で実施。全ての自治体で接種率 95%以上。()MR ワクチンの周期的キャンペーン実施。()思春期・成人男女に対する MR ワクチン追加接種 1 回。()麻疹・風疹の包括的サーベイランス。()CRS サーベイランス履行。()検査室における風疹ウイルスの検出、分離能力強化。南北アメリカでは 98~06 年の間に風疹患者数は 97.8%減となっているが、07 年にも風疹ワクチン集団接種が女性を対象としていた国 (アルゼンチン、ブラジル、チリ) で発生があり、風疹排除上の問題となっている。本報は PAHO における 2010 年を目標とした風疹・CRS 排除努力の進捗、08 年 9 月 30 日までの情報のまとめである。
- (2) 定期接種：ハイチ(09 年 MR 導入予定)を除き PAHO 加盟国 37 カ国全てにおいて MMR で実施。07 年 12 ヶ月児の MMR 初回 (MMR1) の接種率は 37 か国中 19 カ国(51%)で 95%以上、7 カ国(19%)で 90~94%、7 カ国(19%)で 80~89%、4 カ国で 80%未満であった。07 年の MMR2 定期接種率は 20 カ国から報告があり、3 カ国が 95%以上、3 カ国が 90~94%、8 カ国が 80~89%、6 カ国が 80%未満であった。09 年には他の 10 カ国が MMR2 の監視・報告開始予定。
- (3) 定期外の補充予防接種活動 Supplementary Immunization Activities, SIA) : PAHO の推奨する SIA 作戦は思春期・成人を対象とした 1 回接種と、通常 1~4 歳児を対象とした定期的 SIA である。08 年 9 月 30 日時点で 32 カ国が思春期・成人を対象とした SIA 実施に成功 (例えばブラジルでは 01~02 年は成人女性だけに SIA 実施、流行が続くので 08 年には 5 州で 20~39 歳男女 7,000 万人に接種、などいくつかの国について詳細な数字記載あり、略。国別 SIA 実施一覧表あり)。
- (4) サーベイランス活動：
- a. 麻疹・風疹包括的サーベイランス：96 年以降麻疹 IgM 抗体陰性の麻疹疑い例の血清は風疹 IgM が検査されていて 99 年には PAHO 認定の 21 国立、124 準国立検査室ネットワークが包括的サーベイランス開始。ウイルス分離用検体が 03 年には 26 検体であったのが 07 年には 576 検体に増加。サーベイランス感度監視の最近の目標は()報告機関の 80%から週報が届くこと。()麻疹・風疹疑い例の 80%以上が適切に検査されること。()麻疹・風疹の報告が人口 10 万当り 2 例以上あること。()80%以上の患者が血清抗体検査を受けること。07 年には 34 報告国のうち 88%の地域から毎週報告があり、上記サーベイランス感度監視事項の報告は 71%、血清検査が 85%で実施されていた。09 年以降、排除進捗は()確認例の 80%について 30 日間接触者の調査。()集団発生の 80%以上から適切な材料採取、で監視されている。
- b. CRS サーベイランス：07 年 34 カ国から 975 例の CRS 報告あり、19 例が風疹 IgM 抗体陽性。08 年には 9 月 20 日時点でアルゼンチン 1 例、ブラジル 3 例、チリ 2 例報告あり。
- c. 風疹排除監視：排除作戦履行後、風疹確認例は 98 年 / 06 年比で 97.8%減少 (235,947 2,998 例。グラフあり) 07 年小流行がブラジル、アルゼンチン、チリであり、これらの国で報告数の 99%を占めている。排除作戦履行国における国内発生の報告はなく、米合衆国は 05 年国内伝播排除宣言を発表している。09 年には他の国でも排除認定作業を開始するところがあると期待される。

愛知県感染症情報

2008年46週(2008年11月10日～2008年11月16日)

愛知県衛生研究所

| | | 定点数 | | | | | RSウイルス感染症 | インフルエンザ* | 咽頭結膜熱 | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 感染性胃腸炎 | 水痘 | 手足口病 | 伝染性紅斑 | 突発性発しん | 百日咳 | ヘルパンギーナ | 流行性耳下腺炎 | 急性出血性結膜炎 | 流行性角結膜炎 | 細菌性髄膜炎 | 無菌性髄膜炎 | マイコプラズマ肺炎 | クラミジア肺炎 (オウム病を除く。) |
|------------------|------|---------|-----|----|-----|----|-----------|----------|-------|---------------|--------|-----|------|-------|--------|-----|---------|---------|----------|---------|--------|--------|-----------|-----------------------|
| | | インフルエンザ | 小児科 | 眼科 | STD | 基幹 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 愛知県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 愛知県 (名古屋市を含む) | | 195 | 182 | 35 | 52 | 17 | 149 | 35 | 37 | 322 | 710 | 199 | 77 | 8 | 124 | 8 | 15 | 145 | 0 | 4 | 1 | 0 | 13 | 4 |
| 総数 (名古屋市は除く) | | 125 | 112 | 24 | 37 | 12 | 105 | 28 | 27 | 249 | 451 | 162 | 67 | 6 | 95 | 5 | 10 | 105 | 0 | 1 | 1 | 0 | 7 | 0 |
| 名古屋 | 名古屋市 | 70 | 70 | 11 | 15 | 5 | 44 | 7 | 10 | 73 | 259 | 37 | 10 | 2 | 29 | 3 | 5 | 40 | | 3 | | | 6 | 4 |
| 尾張東部 | 瀬戸 | 9 | 9 | 2 | 3 | 1 | 7 | | 11 | 53 | 17 | 18 | | | 3 | | | 3 | | | | | 3 | |
| 海部津島 | 津島 | 7 | 7 | 2 | 2 | 1 | | | 1 | 28 | 56 | 30 | 8 | | 7 | | | 11 | | | | | 2 | |
| 尾張中部 | 師勝 | 4 | 4 | 1 | 1 | | | | | | 5 | 3 | 1 | | 2 | | | 3 | | | | | | |
| 尾張西部 | 一宮 | 16 | 12 | 3 | 4 | 1 | 4 | 1 | 3 | 10 | 56 | 14 | 8 | | 12 | 1 | | 18 | | | | | 1 | |
| 尾張北部 | 春日井 | 9 | 9 | 2 | 3 | 1 | 35 | 12 | 1 | 28 | 24 | 27 | 8 | 3 | 10 | 2 | 3 | 2 | | | | | | |
| | 江南 | 6 | 6 | 1 | 2 | | 27 | | 2 | 12 | 31 | 2 | 4 | | 4 | | 2 | 8 | | | | | | |
| 知多半島 | 半田 | 6 | 6 | 1 | 2 | 1 | 1 | | 1 | 6 | 26 | 5 | 9 | 2 | 5 | 2 | | 7 | | | | | | |
| | 知多 | 7 | 7 | 2 | 2 | | 6 | | 1 | 14 | 34 | 1 | 1 | | 6 | | | 1 | | | | | | |
| 西三河南部 | 岡崎市 | 11 | 7 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | | 24 | 26 | 3 | 5 | | 9 | | 2 | 23 | | | | | | |
| | 衣浦東部 | 13 | 13 | 2 | 4 | 1 | 9 | 2 | 1 | 28 | 34 | 24 | 12 | 1 | 10 | | 1 | 19 | | | | | | |
| | 西尾 | 5 | 5 | 1 | 2 | 1 | 2 | | 1 | 5 | 26 | 6 | 3 | | 7 | | 1 | 4 | | | 1 | | | |
| 西三河北部 | 豊田市 | 9 | 9 | 2 | 4 | 1 | | 1 | | 26 | 49 | 13 | 3 | | 8 | | 1 | 5 | | | | | | |
| 東三河南部 | 豊橋市 | 12 | 8 | 2 | 4 | 1 | 13 | 2 | | 3 | 35 | 7 | 3 | | 4 | | | | | | | | 1 | |
| | 豊川 | 9 | 8 | 1 | 2 | 1 | | 9 | 5 | 12 | 32 | 8 | 2 | | 8 | | | 1 | | 1 | | | | |
| 東三河北部 | 新城 | 2 | 2 | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |

*鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

愛知県感染症情報

2008年46週(2008年11月10日～2008年11月16日)

愛知県衛生研究所

| 年齢階層 (名古屋市を除く) | RSウイルス感染症 | インフルエンザ* | 咽頭結膜熱 | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 感染性胃腸炎 | 水痘 | 手足口病 | 伝染性紅斑 | 突発性発しん | 百日咳 | ヘルパンギーナ | 流行性耳下腺炎 | 急性出血性結膜炎 | 流行性角結膜炎 | 細菌性髄膜炎 | 無菌性髄膜炎 | マイコプラズマ肺炎 | クラミジア肺炎 (オウム病を除く。) |
|-------------------|-----------|----------|-------|---------------|--------|-----|------|-------|--------|-----|---------|---------|----------|---------|--------|--------|-----------|-----------------------|
| 計 | 105 | 28 | 27 | 249 | 451 | 162 | 67 | 6 | 95 | 5 | 10 | 105 | 0 | 1 | 1 | 0 | 7 | 0 |
| ～6ヶ月 | 19 | 1 | | | 6 | 4 | 1 | | 2 | 1 | | | | | | | | |
| ～12ヶ月 | 23 | | 2 | | 35 | 10 | 4 | 1 | 39 | 1 | 1 | | | | | | | |
| 0歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1歳 | 37 | 6 | 7 | 7 | 58 | 27 | 12 | 1 | 48 | | 1 | 3 | | | | | | |
| 2歳 | 17 | 5 | 2 | 6 | 39 | 26 | 10 | | 5 | | 2 | 8 | | | | | | |
| 3歳 | 7 | 3 | 3 | 22 | 46 | 16 | 14 | | | | | 14 | | | | | | |
| 4歳 | 1 | | 2 | 34 | 57 | 30 | 9 | 3 | 1 | | 2 | 19 | | | | | 2 | |
| 5歳 | 1 | | 8 | 40 | 33 | 21 | 10 | | | | 1 | 23 | | | | | | |
| 6歳 | | | 2 | 32 | 35 | 13 | 3 | | | | 1 | 22 | | | | | | |
| 7歳 | | 1 | 1 | 27 | 22 | 9 | 1 | 1 | | | | 3 | | | | | | |
| 8歳 | | | | 28 | 16 | 2 | 2 | | | | | 3 | | | | | | |
| 9歳 | | | | 11 | 9 | 1 | 1 | | | | 1 | 3 | | | | | | |
| 5歳～9歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | |
| 10歳～14歳 | | | | 33 | 27 | 3 | | | | | 1 | 5 | | | | | 1 | |
| 15歳～19歳 | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | |
| 20歳～ | | | | 8 | 66 | | | | | 3 | | 2 | | | 1 | | | |
| 20歳～29歳 | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 30歳～39歳 | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 40歳～49歳 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 50歳～59歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60歳～69歳 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| 70歳～ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 70歳～79歳 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 80歳以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

*鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く